

研究活動報告

この一覧は、本学生活科学科専任教員の 2005 年 1 月～12 月における研究活動を本人の申し出に基づき収録したものです。(順不同)

学術論文・学術書

- ・岩田俊二：「総説 基礎的自治体の内部団体」、『農村計画学会誌』，第 24 巻 1 号（特集 市町村合併と農村計画），pp3～7，2005 年 6 月
- ・岩田俊二：「特集報告 農住都市構想の現実化と発展方向」、『農村計画学会誌』，第 24 巻 3 号（特集 グローバル時代の農村計画学－農村計画学の史的展開を踏まえて－），pp177～186，2005 年 12 月
- ・Iida T., Kamo, M., Uozumi N., Inui T., and Imai K. Further application of a two-step heparin affinity chromatography method using divalent cations as eluents: Purification and identification of membrane-bound heparin binding proteins from the mitochondrial fraction of HL-60 cells (2005) *Journal of Chromatography B Analytical Technologies in the Biomedical and Life Science*, **823**, 209-212
- ・増田智恵，森綾子，**村田温子**：「3次元着装シミュレーションによる若年女子の婦人服選択支援のためのイメージ用語抽出と服のデザイン分類」 日本繊維製品消費科学会，Vol. 46 No. 9
- ・今井伸和：「子どものいのちにふれる－東井義雄の教育論－」（単著），『道徳と教育』第324号，日本道徳教育学会，2005年12月．
- ・Ito K, Inoue S, Hiraku Y, Kawanishi S. Mechanism of site-specific DNA damage induced by ozone. *Mutat Res.* 585 (2005) 60-70
- ・長友薫輝：「高齢者の生活課題」、『高齢者福祉論－基本と事例－』，学文社，2005 年 4 月所収

紀要等

- ・岩田俊二：「国道 260 号沿道景観形成の課題」、『地研年報』，第 10 号，pp93～100，三重短期大学地域問題総合調査研究室，2005 年 3 月
- ・西口茉実,古田智子,**飯田津喜美** ,乾 隆「疎水性低分子結合によるリポカリン型プロスタグランジンD合成酵素の熱安定性についての研究」、『三重短期大学生生活科学研究会紀要』，第 53 号，pp1-4，2005 年 3 月
- ・上山英三：「運動ベクトル場のベイズ推定とフィルタ方程式」、『三重短期大学生生活科学研究会紀要』，第 53 号，pp.19-24，2005 年 3 月
- ・村田温子：「ミシンの使用状況と衣生活」，『三重短期大学生生活科学研究会紀要』，No. 53，2005 年 3 月
- ・長友薫輝：「国民生活の状況と社会保障の再分配機能」、『三重短期大学生生活科学研究会紀要』No.53 所収，2005 年 3 月
- ・長友薫輝：「国民健康保険料の滞納者の状況と政策的対応」、『地研年報』第 10 号所収，

三重短期大学地域問題総合調査研究室 2005 年 3 月

- ・長友薫輝：「地域保健法による地域再編－大阪府，大阪市の状況から－」，『大阪府保険医雑誌』第 33 巻第 466 号，2005 年 12 月

学会報告

- ・乾隆，**飯田津喜美**，田中晶善，大久保忠恭，裏出良博，西村重徳：
「疎水性低分子結合によるリポカリン型プロスタグランジン D 合成酵素の熱安定化」
第 5 回日本蛋白質科学会年会，2005 年 6 月，神戸
- ・今井伸和：「ブーバーとロジャーズの対話に関する一考察－『個体化』の問題をめ
ぐって－」（単独），関西教育学会第 57 回大会（和歌山大学），2005 年 11 月 12 日。
- ・Iida T., Tanaka A., Urade Y., Inui T. Thermal stabilization of lipocalin-type
prostaglandin D synthase induced by hydrophobic small ligand. The 78th annual
meeting of Japanese Biochemical Society, Oct. 2005, Kobe, Japan.
- ・川西正祐，平工雄介，**伊藤貴美子**，平川和貴：「光増感反応による DNA 損傷と新規
光防御作用」第 27 回日本光医学・光生物学会，第 12 回日本光生物学協会年会合同シ
ンポジウム，2005 年 8 月
- ・原 幸一：「職業適性検査の中高校生での経年変化」，認知と授業研究会，2005 年 8 月

その他の報告等

- ・岩田俊二：「都市農村計画の計画史－大都市東京圏と地方都市津－」，三重県各種学校
総連合会研修会講演，2005 年 9 月
- ・飯田津喜美：「破骨細胞依存性骨吸収におけるモネンシンの阻害効果」三重県栄養士会
研究発表会，2005 年 3 月
- ・今井伸和：「子どものいのちにふれる－東井義雄の教育論－」（講演），三重県内高
等教育機関・三重県教育委員会・三重生涯学習センター，みえアカデミックセミナ
ー，一般，2005 年 7 月 20 日，三重県総合文化センター
- ・原 幸一：「子どもの現在」（講演），三重県内高等教育機関・三重県教育委員会・
三重生涯学習センター，みえアカデミックセミナー，2005 年 7 月，三重県総合文化
センター
- ・原 幸一：シンポジウム「活動報告－安全安心まちづくりと青少年育成をめぐって－」
（コーディネーター），2005 年 11 月
- ・原 幸一：「福祉共生社会の確立」（講演），亀山市市民大学，2005 年 12 月
- ・長友薫輝：「四日市公害問題と社会福祉」，三重大学「四日市学」，2005 年 6 月 30 日
- ・長友薫輝：「亀山の福祉・共生社会－わたしたちの地域を知る－」，亀山環境市民大学
2005 年 12 月 21 日

共同研究

- ・上山英三：独立行政法人理化学研究所バイオ・ミメティックコントロール研究センタ
ー，「生体模倣型視覚情報処理機構と生体運動制御への応用」，運動系システム制御理

論研究チーム フロンティア研究員（非常勤），2005 年

助成委託研究等

- ・飯田津喜美：分担研究 文部科学省科学研究費補助金基盤研究B課題番号：17300165
「分子選択的認識機能を有するテラメード・マイクロキャリア蛋白質の設計」
研究代表者；乾 隆（大阪府立大学）2005-2006 年（本年度交付予定額 920 万円）
- ・谷口水穂：平成 16 年度農水省総合食料対策民間団体事業推進費補助金「ブランド・ニッポン」加工食品供給促進等技術開発事業，共同研究『モチ性小麦全粒粉による製パン技術の開発』（130 万円）2004 年 5 月～2005 年 5 月
- ・伊藤貴美子：文部科学省科学研究費補助金 基盤研究(C)（平成17～19年度）
「抗酸化健康食品，特にコエンザイムQ₁₀ の遺伝子損傷性に基づく安全性・有効性の評価」（研究代表者 伊藤貴美子，研究分担者 村田真理子他）（本年度 240 万円）

その他

- ・岩田俊二：津地区有償福祉運送協議会会長，津市健康福祉部，2005 年 4 月～
- ・岩田俊二：三重県密集市街地整備基本方針策定委員会副会長，三重県県土整備部，2005 年 4 月～2006 年 3 月
- ・岩田俊二：「都市農地を活用したまちづくりケーススタディ」松阪市山室町字竹林地区検討委員会委員，（財）都市農地活用支援センター，2005 年 8 月～2006 年 3 月
- ・村田温子：「絞り染め訪問着」入選，日本染色作家協会 2005 年 3 月
- ・谷口水穂：津市産業労働部農林水産課「もち小麦特産品研究グループ」代表，2003 年 3 月～2006 年 3 月
- ・谷口水穂：三重県農林水産商工部「地産地消ネットワーク津」代表，2003 年 4 月～2007 年 3 月
- ・谷口水穂：津地区「食の教育研究実践プロジェクト」三重短期大学代表，2003 年 3 月～2006 年 3 月
- ・谷口水穂：津市社会教育委員，2004 年 6 月～2005 年 12 月
- ・谷口水穂：津市保健事業推進協議会委員，2004 年 8 月～2005 年 12 月
- ・長友薫輝：亀山市総合環境研究センター研究員，2005 年 7 月～2007 年 5 月
- ・長友薫輝：亀山市総合計画策定研究会委員，2005 年 7 月～2007 年 3 月